

令和2年度 第4回鳥取大学経営協議会 議事要旨

日 時 令和3年1月25日(月) 14:30 ~ 16:00
会議方法 Google Meetによるオンライン会議
出席者 (学外) 江崎, 熊埜御堂, 林田, 平井, 松本, 宮崎, 吉岡,
渡辺の各委員
(学内) 中島, 田村, 河田, 細井, 松田, 藪田, 原田の各委員
陪席者 田中監事, 山口副学長, 黒沢医学部長, 後藤工学部長, 霜村農学部長

議事要旨の承認

前回(令和2年11月16日開催, 令和2年度第3回)の議事要旨を承認した。

— 委員からの主な意見 —

- ◇ 本学の第3期中期目標期間における3つの戦略のうち, 人口減少・過疎化に取り組む「人口希薄化地域における地域創生を目指した実践型教育研究の新展開」については, 現在, 過密の対義語として過疎が良い見方をされ始めていることから改めて評価できるとともに, 本戦略に新型コロナウイルス感染症の視点を盛り込みつつ, 取り組みを進めることを要望する旨発言があった。
- ◇ 来年度の国立大学法人運営費交付金については, 実質的に増額となることが評価できるとともに, 新型コロナウイルス感染症に関連した学生生活への配慮と, 大学, 特に医学系が果たす役割への配慮を要望する旨発言があった。
- ◇ 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が学生にまで行き渡るには時間を要することが予想されるため, それまでの間, 適切な対策を取ること, 及び学生生活と新型コロナウイルス感染症対策との両立が可能となるような検討を要望する旨発言があった。
- ◇ 今後大学に学生が集まりだす新年度を迎える前に, 鳥取県あるいは鳥取市保健所等と協議し, 例えば, 本学内に検査や健康相談が可能な場所を設置し, 新型コロナウイルス感染症に対する学生の不安解消及び感染拡大防止に向けた体制構築を要望する旨, また県としても可能な限り協力を行いたい旨発言があり, 本学としても県と連携して新型コロナウイルス感染症対策及び学生対応を行いたい旨説明があった。

議 題

1. 国立大学法人ガバナンス・コードへの適合状況

資料1に基づき、前回経営協議会終了後に各委員へ行った意見照会に対し、各委員より回答のあった意見等を踏まえて修正した本学の適合状況、及び令和3年2月末が公表期限となっている報告書（案）の経営協議会による確認状況欄等の記載内容について説明があり、審議の結果承認した。

2. 第3期中期目標・中期計画の変更

資料2に基づき、附属病院の理念の変更に伴う中期目標の変更、及び収容定員の変更に伴う中期計画の変更について説明があり、審議の結果承認した。

3. 令和2年度第2次学内補正予算（案）

資料3に基づき、令和2年度第2次学内補正予算（案）について、追加配分可能額及び執行計画案（学長裁量経費組入分及び業務達成基準適用事業）について説明があり、審議の結果承認した。

報 告

1. 令和元年度に係る業務の実績に関する評価結果

資料4に基づき、令和2年6月末に国立大学法人評価委員会へ提出した「令和元事業年度に係る業務の実績に関する報告書」に対し、令和2年12月23日付で通知された評価結果について報告があった。

2. 令和3年度国立大学関係予算（案）の概要

資料5に基づき、文部科学省から示された令和3年度国立大学関係予算（案）の概要、令和3年度国立大学法人運営費交付金予定額及び本学の運営費交付金予定額等について報告があった。

3. 令和元事業年度財務レポート〈プラス〉

資料6に基づき、今回より大学憲章及び中島学長方針等が盛り込まれた令和元事業年度財務レポート〈プラス〉について報告があった。

そ の 他

- ◇ 資料7に基づき、最近の本学の主なトピックスについて説明があった。
- ◇ 資料8に基づき、最近の地域貢献の取組みについて説明があった。
- ◇ 資料9に基づき、令和2年度第5回会議を令和3年3月15日開催予定である旨説明があった。